

6年生、強さの秘訣は・・・？

～小体連ソフトバレーボール交流会～

毎年、6年生は葦北郡小体連ソフトバレーボール大会が開催されます。全員参加で、津奈木小は5チームをエントリーしました。3つのパートに分かれて交流戦を行い、全てのパートで優勝しました。5チームともに力が拮抗し、声をかけ合ってプレーする姿に感動しました。1週間後は、担任の粋な計らいで5チームの校内 NO.1 決定戦を実施。小体連大会で優勝できなかったCチーム（青木聖虎くん、大川蒼裕くん、大園幸明くん、佐々木海祐さん、澤田美優さん、淵上心花さん）が固い結束力を発揮し見事校内 NO.1 に。学級の団結力、チーム力を高めたイベントになりました。



▲湯浦小体育館で集合写真



▲表彰式の様子



▲校内 NO.1 決定戦

人の話を聞くこと！

「口は一つ、耳は二つ。」これは古代ギリシアの時代から言われてきた言葉です。「人は自分が話すこと以上に、他人の話を聞くべきである」ということを意味しています。

聞くことは学びの第一歩。授業中、先生の説明や指示、友達の意見などをきちんと聞けることは、子どもの学びを支える重要な要素です。先生や友達の話を聞いた上で自分の考えを話す、コミュニケーション能力をもった子どもの姿を目指しています。

日本にも「話し上手は聞き上手」という言葉があります。将来、子ども達が社会人になったとき仕事を上手くやっていくには、「聞き上手」になることが大切かもしれません。

すごいで賞！

1学期の始業式、「私たちの学級は●●が一番すごい！」という自慢（学級の宝）を作りなさいと言いました。

6月、「朝の元気な歌声」で2年生を表彰。7月には「宿題忘れなし」で6年生を、「給食残食なし」で4年生を表彰しました。それぞれ学級全員が目標を意識して、協力したから一番になりました。

1学期最後は、「話の聞き方」で5年生と3年生が競っていました。2学期のスタートが楽しみです。

【後記】

W杯サッカーに出場した日本代表の組織力が、世界から高く評価されています。何かと個人主義になりがちな昨今。学校教育でも、学級のチーム力の育成が重要です。

津奈木小学校だより 7月号 令和8年7月17日

津奈木の風

校長 船場 孝洋